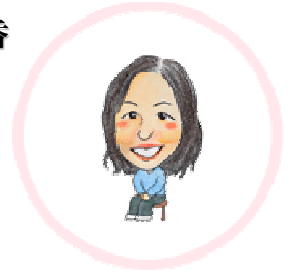


教育GP採択期間を終えて

総合教育センター 茂木 七香



平成20年度から3年間、「地域の子育て施策を活用した教育方法の改善～大垣市との連携による子育てサロンの運営を通じた体験学習～」が文部科学省の質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)として採択されました。学生たちが大学の授業で習得したことを学内外で発表する、という取組は多くの大学で行われているものですし、本学でも従来から様々な形で行ってきました。

しかし今回の取組は、子育てと関連の少ない学科も含めた全学で組織的・計画的に行ったことで、さらに多くの成果を得ることができました。平成20年6月に学内に開設された子育てサロン「ぷっぷあ」を始めとして学内外での発表の場を計画的に設け、事前準備や実施後の振り返りを授業時間内に行うことで、学習成果を活かすための工夫や発表後の学習課題の確認に十分な時間をとることができました。また、活動の振り返りを学生・教員それぞれの立場から質的・量的に行い、これを検討することで、次の活動がより良いものとなりました。成果の詳細については、取組報告書をご参照いただきたいと思います。

本取組の取組期間は昨年度末で終了しました。しかし、本学の学生・教員が学科や職域を超えてひとつのことに取り組むという貴重な機会は、ぜひ保ち続けていきたいものです。また、取組の内容であった、学習成果発表やその評価・振り返りによる教育改善も、子育て関連の分野に留まらず、幅広い領域での実践が可能です。今年度以降も、各学科のGP専門部会員の先生方をはじめ、学内の教職員の方々にご協力いただきながら、教育GPの取組の流れを継続していきたいと思っています。どうかよろしくお願いいたします。

センターの組織

□ センター (センター長: 矢田貝真一)

- ・主事: 茂木七香
- ・センター員: 清水憲志・瀧瀬春彦
- ・センター庶務: 教務・広報課

□ FD専門部会 (部会長: 矢田貝真一)

【役割】FDの推進と評価研究、教養教育・リメディアル教育・リカレント教育や他の学習や学習支援に関する取組、他大学との連携に関する取組

- ・役田 亨(幼教)
- ・遠藤幸幸(音総)
- ・黒田 皇(デ美)
- ・三田智子(歯衛) / 専門委員: 茂木七香、清水憲志、瀧瀬春彦 / 庶務: 教務・広報課

□ 教育GP専門部会 (部会長: 茂木七香)

【役割】教育GPなど質の高い教育の取組、地域の生涯学習に関する検討と推進、学生支援担当との連絡調整や支援

- ・幼教・音総・デ美・歯衛のFD専門部会員 / 専門委員: 矢田貝真一、清水憲志、瀧瀬春彦 / 庶務: 教務・広報課



昨年度の総括と23年度の取組

□ FD専門部会

1. 22年度のおもな活動

(1) 平成22年度FD活動の目標

センターの「短期大学士力の内容と教育の質保証の在り方を明示していくための役割を確実に果たしていく」方針の具現化をめざす活動の実施を中心的な目標とした。

(2) FD研修会

平成22年8月19日(金)9:30~15:30 C号館3階多目的ホールにおいて『教育改善の方向性と授業・評価のあり方』をテーマに実施。宮崎学園短大の宗和太郎副学長をお迎えし、先進校の取組や理念について学んだ。

(3) 授業交流会

前期または後期に期間を設定して、所属学科を問わず全開講科目を参観範囲とし、1科目以上の参観を実施した。

(4) 学生による授業評価

調査対象科目が学年で偏らないよう配慮し、非常勤教員担当科目も対象に前期・後期末に実施し、結果と教員のコメント等を『FD Information』にまとめ学内に公表した。

(5) 「見える化プロジェクト」の策定と推進協力

建学の精神及び教育理念にそった3方針(DP, CP, AP)と学

科目的を授業科目と結びつけて明示するプロジェクト計画を立案し、自己点検・評価委員会の実施事業に協力した。

2. 昨年度の成果と23年度の取組

22年度には授業交流会や学生による授業評価など例年行っている取組はもちろん、FD研修会で先進校の取組に学びながら日ごろの授業改善について取組や意見交流を行うことができた。また「見える化プロジェクト」を専門部会として立案して、自己点検・評価委員会を中心として全学で計画的に取り組むことができた。その結果、建学の精神・教育理念・学科学目的及び3つの方針(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー)とすべて授業について、教育指標と到達目標を明示することによって結びつけることができ、本学の教育について一層体系的に明らかにすることができた。

23年度は基盤的な行事や調査である授業交流会や学生による授業評価とともに、隔年で行っている「教育環境調査」を全学的に実施して、確かな学びの深まりをめざすこととしている。またこれとともに、教務委員会を中心として実施する実際の学習評価など学習成果を明らかにする取組を支援し、授業の到達指標や到達目標を学生に明示していこうとする「見える化プロジェクトⅡ」を計画・実施することで、一層の学習成果の向上とカリキュラム・マップづくりをめざしていきたい。さらに、教育の質保証を見ずえた単位の実質化の徹底や初年次教育の体系化などにも取り組んでいきたい。あわせて、教員から要望の多い授業改善に関する具体的な事例紹介や授業スキルの向上にも取り組んでいきたい。(FD専門部会長：矢田貝 真一)



□ 教育GP 専門部会

1. 22年度のおもな活動

(1) 教育GPの取組推進

- ・子育てサロンや子育て支援関連行事の活用についての各学科計画、連絡調整、実施、まとめ等
- ・最終取組報告書の作成

(2) GPの内容紹介や取組の理解を深める活動

- ・教育GP紹介チラシ2号原稿作成作業、新聞折込
- ・22年度「大学教育改革プログラム合同フォーラム」参加
- ・本学「教育GPフォーラム」の実施(12月4日)

2. 昨年度の成果と23年度の取組

教育GPについては、多くの学生が学習した成果を生かした取組を行うことで大きな成果を得て3年間の事業補助

期間を終えることができた。昨年12月には日本私立短期大学協会の佐藤弘毅会長にもご講演いただいて、「教育GPフォーラム」を実施し、取組を推進した各学科の教員や参加した学生が取組のまとめを行うとともに、学生の意見交流会も行うことができた。また取組について最終報告書としてまとめることができ、何よりも4つの学科が学生の活動を中心として一つのプログラムに取り組めたという実績は、今後の本学の教育活動にとって大きな財産となった。

23年度からは文部科学省の補助事業という位置づけは終了するものの、地域と連携しながら教育活動を進めていくために「子育て支援」から大垣市との連携協定にもとづいてさらに対象や内容を広げた取組として継続していきたい。またこの地域と連携した活動を活用しながら教育方法の改善を進める取組だけでなく、「学内教育GP」として教育改善を推進するためのプログラムに取り組んでいくこととしている。(教育GP専門部会長：茂木 七香)



□ 総合教育センター

1. 23年度の方針及び活動目標

センターでは次の事項を本年度の方針等として、各専門部会と連携しながら取組の推進を図っていかうとしている。

(1) 短期大学士力の内容と教育の質保証の在り方を明示していくための役割を確実に果たしていく。

① 本学でつける短期大学士力の内容と教育の質保証の在り方を明示して社会的説明責任を果たしていくために、各学科・関係部署と連携しながらよりよいFD活動の在り方を検討し、その充実に努める。

② 22年度の「見える化プロジェクト」に続いて、学習目標と結びついた学習評価の在り方や評価方法などを中心として、さらに深化させた取組を推進していく。

(2) 充実した教育活動をめざすためにサポートを行うとともに、教育に関する課題の解決にあたる。

① 評価や調査等を通して学生等の意識や実態を把握し、授業改善や教育環境の向上に努める。

② 初年次教育を継続して実施して成果や課題をさらに明らかにしていく。

③ 教養教育の一環として各学科が行う「総合教養演習」で22年度に引き続いて授業内容のサポートを行う。

(3) 教育改善に取り組むことで、建学の精神や基本理念の具現化に向けた教育活動の基盤づくりを行う。

① 本学の特色ある教養教育の在り方について検討し、将来に向けたカリキュラム案を提示する。

- ② 入学前教育、導入教育ともあわせて短期大学に相応しい総合的な初年次教育の在り方をはじめとして、リメディアル教育、リカレント教育等の在り方や具体的内容について、各学科・関係部署と連携しながら検討を進める。
- ③ 学内での本学の特色ある教育取組を「学内教育G P」として、全学的に支援しながら推進していく。

2. 23年度の活動予定

センターでは、下記の活動に取り組む予定にしている。

【4月】

- ・初年次教育の実施(幼・デ・音・歯:Center)
- ・「FD Information」の発行(22年度後期の学生による授業評価の結果報告:Center)
- ・22年度本学での教育に関する満足度調査の分析(FD)

【5月】

- ・総合教養演習への支援(音:Center)
- ・基礎教養テスト結果のまとめと分析(Center)
- ・「見える化プロジェクトⅡ」検討と計画(Center・FD)
- ・学内教育G Pの仕組みづくりと実施(Center・GP)

【6月】

- ・前期 授業交流会の計画と実施(FD)
- ・総合教養演習への支援(幼・デ・音・歯:Center)

【7月】

- ・前期 学生による授業評価の実施(FD)
- ・前期 授業交流会結果のまとめと分析(Center)
- ・総合教養演習への支援(デ・音・歯:Center)

【8月】

- ・前期「教養ミニトーク」のまとめ(FD・Center)
- ・FD研修会の計画と運営(FD・Center)
- ・前期 学生による授業評価のまとめと分析(Center)

【9月】

- ・「FD Information」の発行(前期学生による授業評価結果報告)(Center)
- ・FD研修会報告のとりまとめと総括(FD・Center)
- ・FD関連外部研修

【10月】

- ・24年度入学前課題内容の取りまとめ(FD・Center)
- ・「見える化プロジェクトⅡ」の計画(Center・FD)

【11月】

- ・後期 授業交流会の実施(FD)
- ・教育環境調査の計画立案(Center・GP)

【12月】

- ・「学術シンポジウム」の支援と運営(GP)
- ・教育環境調査の実施とまとめ(GP・Center)
- ・後期 授業交流会結果のまとめと分析(Center)

【1月】

- ・後期 学生による授業評価の実施(FD)
- ・本学教育に対する満足度調査の作成(Center・FD)
- ・教育環境調査のまとめと分析(Center)
- ・「大学教育改革合同フォーラム」への参加(GP・他)
- ・24年度初年次教育の計画(Center)
- ・24年度入学前教育の計画とりまとめ(FD・Center)

【2月】

- ・後期「教養ミニトーク」のまとめ(Center)
- ・24年度基礎教養テスト問題の作成(Center・FD)

【3月】

- ・FD関連研修参加(Center・希望者)
 - ・前期 学生による授業評価のまとめと分析(Center)
- (FD:FD 専門部会、GP:教育GP 専門部会、Center:総合教育センター)



本学教育の誇れるところ 改善すべきところ

④

- ◇ 一人一人に丁寧な学生との関わりが本学の良いところではないか。
 - ◇ 学生に対して、「人としての思い」、「教師としての思い」、「作り手としての思い」など、対応は様々である。
 - ◇ だが、あまりにも多様な状況のため教員は苦慮している。強い思いがなければ関われないし、熱い思いがなければ学生の心を動かすことはできない。
 - ◇ 思いだけで過ごしてきた私の感想である。二年あるいは三年という短い期間だが、学生はこの学校で学ぶべきもの、しなければならぬことは多い様に思える。
- (K)

